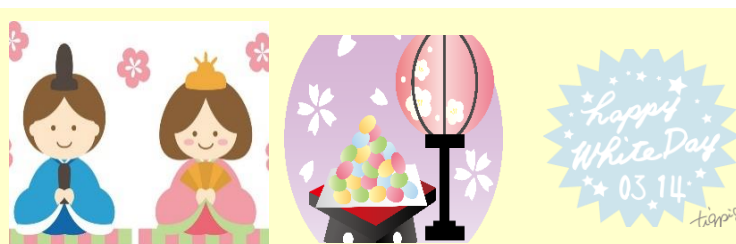


あじさい園 ショートステイ 広報誌 ゆめあじさい

令和3年 3月号



社会福祉法人 晃宝会 特別養護老人ホーム あじさい園

〒630-2175 奈良市茗荷町808番地1 TEL0742-81-0878

URL <http://www.ajisaien.or.jp/>

いつもショートステイをご利用いただきありがとうございます。
ホームページも合わせてご覧くださいませ。

植物の名前の由来を調べますと、「アジサイ」は、古い言葉のアツ（集まる）と藍色のアイからきました。あじさい園は「愛のあつまり」ですね。

「ミウガ（茗荷）」は首から名札をかけて一生懸命働かれたお釈迦さまのお弟子さんのお墓に咲いた花。「アケビ」は、アケビの実が口を開けてアクビをしたようなさまだから。

「スイレン」は、朝、花を開いて夕方には閉じるので、睡（ネム）る蓮（ハス）という意味。「ツバキ」は葉に光沢があり、艶のある葉をもった木、ツバキからきました。

「ネムノキ」は、木の葉が夜になるとピツリ閉じるので、ネプリノキからネムノキになりました。「ワレモコウ」は、葉に切れ込みがあり、茎や葉にちょっと香りがあるという意味。

それぞれおもむきがありますね。「アセビ」は、有毒植物で、鹿や馬が食べて中毒になるため、馬酔木と書いてアセビと読みます。奈良公園近辺にはたくさんあります。

「ウツギ」は、4月のことを卯月ウツギと呼び、卯月に咲く花という意味。「ゲンショウコ」は、白やピンクの小花ですが、草は葉の効果が出てきめんで、現の証拠とか。

「ソメイヨシノ」は、東京の染井の植木屋さんが売り出したため。カラスウリは、赤い実をカラスが食べ残したウリのようなだから。「コマツナギ」は、茎がウマ（駒）をつなげるほど丈夫だから。

「ムラサキ」は小さな白い五弁花ですが、根が紫色で、お公家さんやお坊さんの高貴な位をあらわす紫に染めるときに使われるため。「エビネ」このランは根に節が多く、

エビの背に似ていることから海老根になりました。「アシタバ」は、明日葉と書き、新芽を今日切り取っても翌日には再生するため。「ツワブキ」は、葉が厚く光沢があり、

フキの葉に似ていることから艶のあるフキ。「アヤメ」は、もとの部分（外花被）に黄色と白のアヤ模様をあやの目と呼ばれアヤメになりました。

クスノキの由来、香り高く寿命が長い奇（クス）しい木とか、防虫剤の原料のため薬の木とも言われています。四天王寺境内にはクスノキが139本と圧倒的に多くあります。

戦後の復興期、環境の悪い周囲からの隔絶の目的でスモッグに強いクスノキが植えられたそうです。植物のお名前やお役目に敬意を表して、春を迎えたいと思います。

1月8日 初釜

抹茶と綺麗な和菓子で、美味しく頂きました。



1月29日 おやつパーティー

餃子の皮を使ってお好み焼風のおやつを作りました。



2月2日 節分

鬼は外！福は内！という事で
皆様鬼の的に思いっきり
投げ込まれていました。



2月24日 食事会(カレー風味の肉団子鍋)

カレーの風味が食欲をそとる
美味しいお鍋ができました。
心もお腹もほっこりしました。

